

生活支援体制づくり協議体会議 開催報告書
(地域包括支援センター鴨江担当圏域レベル 第2回)

1 開催日時	令和 7年 11月 6日 (木) 13時 30分 ~ 15時 00分
2 開催場所	浜松市南部協働センター1階 ホール
3 参加者	<p>委員 : 西4名、県居6名、江西5名</p> <p>包括・関係機関 : 6名</p> <p>市社協 : 4名 計 25名</p>
4 協議の内容	<p>1 開会</p> <p>2 第1回協議体会議の振り返り</p> <p style="margin-left: 20px;">■3地区混合でのグループワークを実施</p> <p style="margin-left: 40px;">テーマ①「健康フェスタin鴨江」開催後の各地域での反応について</p> <p style="margin-left: 80px;">測定などチェックの結果で笑って話ができ、良い機会となった。地域のサロンへの出前講座につながったなど。</p> <p style="margin-left: 40px;">テーマ②活動を拓げていくためのアイデア</p> <p style="margin-left: 80px;">なるべく近場での実施がポイント。自分のためになることは関心ごととして参加してくれる傾向にあるなど。</p> <p style="margin-left: 20px;">・前向きな意見とは反対に…</p> <p style="margin-left: 40px;">周知の難しさ → 回覧されていてもよく見ない ⇒ 既存の会議の場を活用！</p> <p style="margin-left: 40px;">移動手段がない → 足がなくて行きたくてもいけない人がいる</p> <p style="margin-left: 80px;">⇒ より近く (徒歩1キロ圏内) での開催！</p> <p style="margin-left: 40px;">行きやすさ → 「足が向く」までが問題で「行こう」と思うこと</p> <p style="margin-left: 80px;">⇒ 声をかけ誘ってくれる人を作る！</p> <p style="margin-left: 20px;">■point 外出をすれば交流が生まれる。交流・つながりがあれば誘い合うことができる。</p> <p style="margin-left: 40px;">たすけあい、お互いの見守りにも通じる。</p> <p>3 情報提供：シンコースポーツ㈱「健康づくり支援事業」のご案内、質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ運動が必要なのか？ 筋力→弱まる→縮んでくる＝前かがみになる ・筋力トレーニングやインボディ（測定器）を使った「出張測定イベント」を開催。 ・体力測定を好まない方も多いが、自分への気づきにつながり、転んで大けがを負い後悔することにもなる。 ・定期的な筋力測定をすることで継続され、健康維持になる。

※実際に足を動かすなどの体験

4 市社協からの情報提供とグループワーク

- ・マンション「エムズ鴨江」住民の集いの場の開催
- ・西菅原町親睦会、元魚町祝寿会
- ・特別養護老人ホーム白萩荘でのこれからの取り組み

<地区別グループワーク>

テーマ①情報提供を受けて思ったこと、感じたこと

テーマ②：小さい単位（町ごと）での集いの場（健康講座）の実施について

【西地区】

- ・「祝寿会」…市全体のものは、アクトシティができる前は市民会館でやっていて、演芸などを披露に出かけたり、観劇を楽しんだ
地元（町内）でも祝った
- ・おしゃれをして外出する機会はとても良い。シャキッと身だしなみが整う
- ・敬老会のあり方もコロナの影響で、弁当→菓子の配付に変わった
- ・現在地域に住んでいる人は、古くからの人ばかりではない
雄踏街道の各町で家屋の撤退
国鉄の寮があった
住む人は一緒だが、家建て替えの多い地区
写真等で懐かしむ、町内の古い写真で話がはずむ
昔のゼンリン地図や写真で盛り上がる
- ・賃貸に住む単身赴任者等が多く、三世代交流事業への参加が少ない
- ・鴨江東はネパール人の日本語学校の寮があり、外国籍の人が多い
町内の催しに参加してもらえるといいのでは
- ・歌声サロンの様子や会合の様子をタブレット等で高齢者宅を訪問した時に見せるのはどうか
- ・回想法に使えるような昔懐かしいものの貸し出しが民児協の研修で訪れた北名古屋にはあった。浜松にもあるとよい。
- ・三世代交流の餅つきの時、各自治会にパネルをおくのはどうか
- ・地域のイベントは実施中
500人とか集まるが、出てきてない人が課題に感じる
- ・補助金が出る事業（イベント）が中心になりがち

【県居地区】

①情報提供を受けて思ったこと、感じたこと

- ・シンコースポーツ（株）の健康づくり支援事業の金額明細を知りたい。
- ・ここに参加しているのは、地域を元気したいと前向きに考えている人の集い
- ・前年度と同じ「健康フェスタ」を開催してはどうか

②小さな単位（町ごと）での集いの場（健康講座）の実施について

- ・足が弱くなり外出減少、認知機能の急激な低下がおきやすい。集会所まで距離があるので出て来られない。
- ・「瑞しょう寺」にイベントで使用できるスペースある。（コロナ前はラジオ体操後にピラ

ティス等があったが、今はない。壮年会ができると良いかも)【西伊場町】

- ・デイサービスを利用している人が増えた。男性陣は夜の飲み会あり。公民館で何かできると良いが、リーダーシップを取る人がいない。【菅原町】
- ・会館の改修中。11月中で完成。
12月餅つき 年明け豆まき予定。出前講座検討中【西菅原町】
- ・会館改修中(来年2月に完成)今年、敬老会を協働センターで実施。77歳以上が360人(来ないのは15~16人)。壮年会は50~60人登録。子供会は学年によりばらつきあるが、人数は減っている。
夏のラジオ体操は10日間80人位参加。そのうち子供は50人位。
自治会の遠足は140人申込(そのうち子供は50人)。料金:大人2千円子供は小学生以下無料。アップルパイ作り。焼いている間にリンゴ狩り。その後、バイキング。毎年人気。【東伊場】
- ・高齢者に限らず子供にも対応(伝達する場として、世代を超えて意見を聞くようにしている。今年、凧揚げ会ハロウィン開催を希望したため、自治会協力。子供達に菓子のつかみ取りを実施。飾りつけにも凝っていた。それ以外にも納涼会・餅つき・バーベキューを実施している。【元魚町】

*介護予防に留まらず、若い人にも目を向けて行ってはどうか?

*会館お披露目会に健康チェックをプラスしてみてもよいかも。

【江西地区】

- ・何事も継続していくことは難しいことから、定期的に測定があると続けやすいのでは。
- ・日常生活の中で測定、運動を入れていく
- ・歩数よりも早歩き
- ・「何かやらなくちゃ」ではなく、日常生活の中で運動ができるようにすると良い
例:近くの駐車場ではなくあえて歩くとか
- ・気づきになるような働きかけが必要
- ・自分では気づかないことでも、自然に体力づくりになることもある

地域向けの講座の開催

- ・南部協働センターでの「いきいきサロン(ボッチャ)」の実施
- ・サロンや老人会とは別のネーミングを考えた→効果あり
- ・神田、南栄、春日の参加者が少ない。また春日町からは足がないので行くのが難しいとの声がある
- ・浅田会館からも距離がある
- ・いきいきサロンの会場を江西会館の2階で試しに実施してみるのはいかがでしょうかと考えている

- ・春日町、社務所で毎週土曜日 10:00~11:30 ロコトレサロンを実施している
- ・11月11日7:30~小学校にて「声かけ運動」をしている
上記の春日町の藤の会の人に出てもらおうようにしている。
地域の様々な人たちが参加できるよう働きかけている

5 その他・連絡事項

第3回協議体会議日程について

令和8年2月19日(木) 10:00~ 福祉交流センター多目的室53(開催予定)

6 閉会 あいさつ：鴨江圏域生活支援体制づくり 会長

5 今後の見通し・必要な対応

- ・ 県居地区内で実施されている集いの場について継続して状況を把握し、3回目以降の話し合いに役立つ情報としてまとめ提供していく。
- ・ 「健康づくり支援事業」を一つのきっかけとし、町単位での集いの場の開催に向けて調整を図る。その後の継続した定期開催も視野に入れる。
(関係機関との連携、福祉交流センター近隣の町との調整)
- ・ 参加しやすい環境とは？「行こう」と思えるための取り組みや働きかけにも目を向ける